

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2021年 6月 23日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者 住 所 東京都渋谷区代々木三丁目22番7号 氏 名 ファイザー・ファーマ株式会社 代表取締役社長 伊藤 雅彦 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-5309-7000	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	ファイザー・ファーマ株式会社 名古屋工場
事業場の所在地	愛知県知多郡武豊町字五号地2番地
計画期間	2021年4月1日～2022年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	16:化学工業
② 事業の規模	製品出荷額(2020年度): 2,591億円
③ 従業員数	961人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 産業廃棄物管理責任者 エンジニアリング部長 └─┐ 特別管理産業廃棄物管理責任者 エンジニアリング部 動力・環境グループ課長 └─┐ 産業廃棄物処理施設管理者 エンジニアリング部 動力・環境グループ課長 └─┐ #230汚泥脱水施設技術管理者 代表取締役社長		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実施していない	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	実施する予定はない	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水汚泥)	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1, 265 t	— t
	(これまでに実施した取組) 排水処理を行った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水汚泥)	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1, 230 t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
① 現状	【前年度（2020年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	実施していない
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	実施する予定はない
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
① 現状	【前年度（2020年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	
	再生利用業者への処 理 委 託 量	
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者への処理委託を継続的に検討してきた。	

	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり
		全 処 理 委 託 量	
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	
		(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

2021年度 産業廃棄物処理計画書 別紙 ①

産業廃棄物の一連の処理工程

産業廃棄物の種類	処理の工程
汚泥 (排水汚泥)	・自ら脱水後、中間処理業者に委託して乾燥または混練後、セメント原料として再資源化
汚泥 (その他の汚泥)	・中間処理業者に委託して焼却後、埋立処分
廃油 (潤滑油等)	・中間処理業者に委託して焼却後、埋立処分
廃プラスチック類 (包装材等)	・再生処理業者に委託して建設材料として再資源化 ・中間処理業者に委託して破碎後、燃料として再資源化 ・中間処理業者に委託して焼却後、埋立処分
金属くず (鉄くず等)	・再生処理業者に委託して金属原料として再資源化
ガラスくず (ガラス瓶等)	・中間処理業者に委託して破碎後、建設材料として再資源化
木くず (木パレット)	・中間処理業者に委託して破碎後、燃料として再資源化
廃アルカリ (40%エチレングリコール、等)	・中間処理業者に委託して焼却後、埋立処分

2021年度 産業廃棄物処理計画書 別紙 ②

廃棄物の排出の抑制に関する事項、処理の委託に関する事項

単位:t

項目			産業廃棄物の種類								合計
			汚泥 (排水汚泥)	汚泥 (その他の汚 泥)	廃油 (潤滑油等)	廃プラスチック類 (包装材等)	金属くず (鉄くず等)	ガラスくず (ガラス瓶等)	木くず (木パレット)	廃プラスチック (40%エチレ ングリコール 等)	
産業廃棄物の 排出抑制に関 する事項	排出量	①現状(前年度)	1,344.000	211.541	37.839	445.346	23.412	1.739	9.620	27.130	2,100.627
		②計画(目標)	1,300.000	200.000	35.000	440.000	23.000	1.500	9.000	25.000	2,033.500
自ら行う産業廃 棄物の再生利 用に関する事項	自ら再生利用を 行なった産業廃 棄物の量	①現状(前年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		②計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃 棄物の中間処 理に関する事項	自ら熱回収を行っ た産業廃棄物の 量	①現状(前年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		②計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理によ り減量した産業廃 棄物の量	①現状(前年度)	1,265.000	0	0	0	0	0	0	0	1,265.000
		②計画(目標)	1,230.000	0	0	0	0	0	0	0	1,230.000
自ら行う産業廃 棄物の埋立・海 洋投入処分に 関する事項	処分量	①現状(前年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		②計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物の 処理の委託に 関する事項	全処理委託量	①現状(前年度)	79.000	211.541	37.839	445.346	23.412	1.739	9.620	27.130	835.627
		②計画(目標)	70.000	200.000	35.000	440.000	23.000	1.500	9.000	25.000	803.500
	優良認定業者へ の処理委託量	①現状(前年度)	0	211.541	37.839	129.516	23.279	0.005	0	27.130	429.310
		②計画(目標)	0	200.000	35.000	120.000	23.000	0.005	0	25.000	403.005
	再生利用業者へ の処理委託量	①現状(前年度)	79.000	40.990	0	324.125	23.412	1.739	9.620	0	478.886
		②計画(目標)	70.000	40.000	0	330.000	23.000	1.500	9.000	0	473.500
	認定熱回収業者 への処理委託量	①現状(前年度)	0	19.240	0.579	0.920	0	0	0	7.960	28.699
		②計画(目標)	0	20.000	0.500	1.000	0	0	0	10.000	31.500
	認定以外の熱回 収を行う業者への 処理委託量	①現状(前年度)	0	151.311	37.260	112.880	0	0	0	0	301.451
		②計画(目標)	0	140.000	34.500	109.000	0	0	0	0	283.500